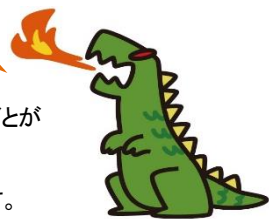


発達障がい×思春期→キレル?!



発達障がいの特性によって生じた日常生活や仕事などでの困りごとが蓄積された結果、いわゆる二次障害が生じることがあります。

二次障害として、精神・身体面、あるいは行動面で症状が現れます。暴力や暴言、反動的な態度もその一つ。

本人が困難を感じる場合の対処法を学び、周囲の人に相談するなど必要な環境調整を行うことで、二次障害が予防できる場合があります。また、二次障害の早期発見・早期治療により、その症状が軽減されます。

「キレル」発達障がい児への取り扱い説明書のようなものです。問題解決のための具体的な方策があり、参考になります。

『「キレル」はこころのSOS—発達障害の二次障害の理解から』

著者:原田 謙 発行: 星和書店 価格: 2,750 円



- 第1章 キレル子どもたち
- 第2章 キレル子どもに対する心構え
- 第3章 キレル子どもへの支援
- 第4章 発達障害の子どもへの対応で気をつけること
- 第5章 思春期のキレル子どもへの対応
- 第6章 キレル子どもの親への支援
- 第7章 キレル子どもの医学的理解
- 第8章 キレル子どもへの外来診療
- 第9章 キレル子どもの入院治療
- 第10章 教育・児童福祉関係者の悩みに答える
- 付録1 反抗挑発症に対するSST資料
- 付録2 ペアレントトレーニング資料



怒りを爆発させ、「ふざけんな!」「殺すぞ!」と暴言を吐き、攻撃性が顕著に表れる“キレル”子どもたちに向き合い続けてきた児童精神科医が、豊富な診療経験と発達障害の二次障害の研究から“キレル”子どもの支え方を導き出した。興奮状態の子どもへの介入方法と支援の仕組み、発達障害を持つ子どもへの対応の仕方、支援者の燃え尽きを防ぐためのセルフケアなど、具体的な支援方法を紹介する。支援者の悩みや疑問に答えるQ&Aを併載し、キレル子どものためのSSTプログラム、ペアレントトレーニングなど付録資料も充実。教育機関や福祉施設ですぐに役立つ実践的内容。(出版社より)

うちの息子も、思春期の頃はよく暴れました。冷静になれば、もっといい対応があったのかもな...と思います。いろいろあったことのうちの一つを漫画にしてみました。

★死んだフリ★

